

平成30年度 学校教育自己診断の結果と分析

大阪府立吹田東高等学校
校長 佐々木 啓

- 「Q.吹田東に進学して(させて)よかった」の肯定的回答は保護者では8割を越えています。生徒は7割を下回っていますが、実際には学年が上がるにしたがい高くなっています。
- 「授業の満足度」については生徒・保護者共に肯定的回答は低い結果でしたが、授業評価や選択科目についての肯定的回答は7割をこえていました。今後も授業アンケートの結果を元に生徒の進路実現や成長をめざし、改善に努めていきます。また、そのためには必修科目の重要性や実力養成のための勉強法など避けては通れないことがあることも生徒の皆さんに理解してもらうよう努めます。
- 教員の講習に参加した生徒の満足度は今年も高い評価得ています。S講座については年数回アンケートを実施していますが、今後できるだけ生徒のニーズに応えられるよう担当者と内容を検討していきます。
- 学校行事、部活動への取り組みについては生徒・保護者共に高い回答ですが、昨年より少し下がっているため今後学校行事の充実と部活動の活性化について取り組んでいきたいと思えます。
- 進路指導の取り組みについては生徒の肯定的回答が約7割ですが、保護者への連絡、意思疎通の肯定的回答は6割弱となっています。進路実現を第一に今後もより一層、生徒を通じて情報等、確実に連絡するよう指導に取り組んでいきます。
- 生徒指導において、生徒の肯定的回答は5割弱、保護者の肯定的回答7割弱になっています。保護者の記述のアンケートでは「厳しすぎる」という意見と「今まで通り厳しくしてほしい」という意見があります。本校では落ち着いた環境の中でこそ本当の教育が実践でき、進路実現にも繋がると考え指導しています。また、中学生対象の学校説明会でも本校の生徒指導方針の話はしており、多くの生徒・保護者は高校を選択する上で考慮されたと思います。今後も本校の指導に何卒ご理解の上、ご協力よろしくお願いします。
- 携帯メールの情報提供について保護者の肯定的回答は非常に高く、今後も有効に活用していきたいと思えます。また、「Q.ウェブページを見るか」の肯定的回答は、保護者・生徒共に非常に低く、こちらの情報提供も有効に活用できるように今後工夫していきたいと思えます。
- 施設についての満足度は高くないですが、仮設校舎で制限がある部分もあり、また新校舎に向けての工事に伴い、騒音や自転車置き場の変更など在校生にはいろいろご迷惑をおかけしました。しかし生徒は臨機応変にこちらの指示に対応し日常の教育活動を行うことができました。まだまだしばらく続きますが協力をお願いします。
- 災害時の対応については、防災計画を見直し、緊急時の連絡、安否確認の方法など再検討を行い、防災避難訓練等の機会を通じて、災害時の行動や対応について確認、お知らせします。災害発生時には、お住まいの地域によって被災状況や交通事情も異なるので、まず安全を確保していただき、登校できない場合は、学校まで連絡をお願いします。